

平成28年度「いわて中山間賞」候補調書

集落等の名称		よこがけかんきょうほげんのかい 横欠環境保全の会						
集落等の状況	市町村	雫石町						
	代表者氏名・住所	氏名	横欠 友一			住所 雫石町上野野中		
	協定締結年度※	平成 ー 年度						
	地域の農用地面積	計	田	畑	草地	採草放牧地		
		9,546 a	8,984 a	562 a	0 a	0 a		
	農家数	計	農業者	非農業者	(代表が女性・若者の戸数)			
		56 戸	41 戸	15 戸	うち女性	うち45歳未満		
交付金※	千円	個人配分※				%		
		共同取組活動※					%	
							%	
							%	
農用地の作付状況	計	水稻	麦	野菜	そば	その他		
	9,546a	4279a	980a	525a	163a	3,599a		
集落等の概況等	<p>・横欠集落は雫石町の中心部から西北約 10 km に位置し、葛根田川の西側にある扇状の盆地をかたどる農山村地域である。</p> <p>・集落の全戸数は 44 戸（農家 36 戸、非農家 8 戸）。保全の会に参加しているのは集落外からの参加者も合わせて 56 戸（農家 41 戸、非農家 15 戸）である。保全の会の年齢構成は、30代1名、40代3名、50代16名、60代20名、70代9名、80代7名。集落内の認定農業者数は4人。</p> <p>・農作物は水稻を中心に小麦、野菜などの生産が行われている。</p>							
集落等の組織体制図	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>横欠環境保全の会</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">代表</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">副代表</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幹事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書記</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">会計</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">監査役</div> </div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px; margin-right: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">横欠自治会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ふれあいサロン</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">五百円未来の会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子供会・PTA</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">横欠婦人会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">横欠営農組合</div> </div> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> </div> <div style="text-align: center;"> <p>※各組織との関係については、別紙体系図を参照</p> </div> </div>							

※の箇所は、中山間地域等直接支払交付金を交付されている集落において記載。

<p>集落等の概況等</p>	<p>将来の目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化等による離農者の増加に伴い、耕作放棄される農地が今後増加する可能性があるため、集落営農組織を中心に農地集積を行い農地を地域全体で守っていく。 ・現在行っている世代間交流を継続し、地域内の協力体制を強化していく。 ・「横欠のからかさ松」、「水芭蕉の群生地」の自然環境を継続して守っていき、伝統を継承していく。また、フラワーロードを通して地域の景観をより良くし、観光客が訪れたいと思えるような雰囲気作りを行っていく。
<p>地域の活性化の取組内容</p>	<p>1 地域の活動のきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横欠地区では、平成 17 年に地域の有志が集落内の沿道にひまわりを植栽したことがきっかけとなり、「横欠のフラワーロード」として始まり、現在では地域住民総出で、総延長 4km（両側 2km）にオレンジ色を横欠カラーとして、「マリーゴールド」を植栽するほか、地域ぐるみで種まき・育苗から管理を行っている。 ・地域コミュニティ組織である「横欠自治会」、地域の小学生とその親で組織する「横欠子供会・PTA」、女性活動組織である「横欠婦人会」、集落営農組合の「横欠営農組合」は、フラワーロード活動を協力して行っている。また、仲間づくりや生きがいくりのための活動を実施している「ふれあいサロン」と、地元有志による地域づくりの会である「五百円未来の会」は、高齢者見守り活動、敬老会でのそば振る舞い活動を協力して行っている。 <p>2 耕作放棄地の防止等の活動及び水路・農道の管理の状況</p> <p>(1) 耕作放棄地の防止等の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 耕作放棄地化を防止するため、会員による地域巡回を実施し、荒廃農地の刈払いを行っている。 ② 耕作放棄地の解消するため、平成 26 年度と平成 27 年度に約 30 アールに取り組み、平成 28 年度から横欠集落営農組合（構成員 22 名）との連携により水稲と小麦の農業生産に取り組んでいる。 <p>(2) 水路の管理状況</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域住民で実施する水路の点検、年 2 回の草刈りや堰上げを行い管理するほか、水路の補修や更新を実施している。 ② 平成 25 年度から平成 27 年度までに約 1 k m の土水路等をコンクリート水路への更新を行っている。 <p>(3) 農道の管理状況</p> <p>生活道路と併用している農道は、年 2 回、地域住民総出で路肩の除草及び簡易な修繕を実施している。</p> <p>3 地域の活性化に向けた取組活動の特徴と成果</p> <p>(1) 集落の協力と結の精神のもとに、婦人会や子供会・PTA 組織も一体となり地域の住民相互の親睦を図りながら、生活環境の整備や農地維持活動を行っている。</p> <p>活動に女性や若い世代等、多様な住民が参画することで、地域のまとまりが生まれてきた。また世代間交流により地域の伝統や自然環境保全の取組が継承されてきている。</p>

(2) 平成 25 年 8 月に発生した大雨災害において、集落内では農地・河川などに大きな被害を受けたが、発生の日から住民全員で小規模な被災箇所への土砂撤去や川の流れを元に戻す作業などを実施した。

地域コミュニティの防災活動組織に加えて、日頃から環境保全活動に住民全員が参加してきたことの成果として、地域内の連絡体制が構築され、災害時の安否確認や復旧活動をスムーズに進めることができた。

4 今後の課題と将来展望

(1) 今後の課題

① 高齢化社会の進展は横欠地区においても例外ではなく、地域の高齢化や後継者不足から離農者もあることから耕作放棄地の増加が見込まれる。

(2) 将来展望

① 離農者の農地は、集落営農組合の協力を経て農地の集積を行い、農地を農地として守っていくことはもとより、自然とふれあう農業の楽しみを、子供たちも交え地域住民で共有していきたい。

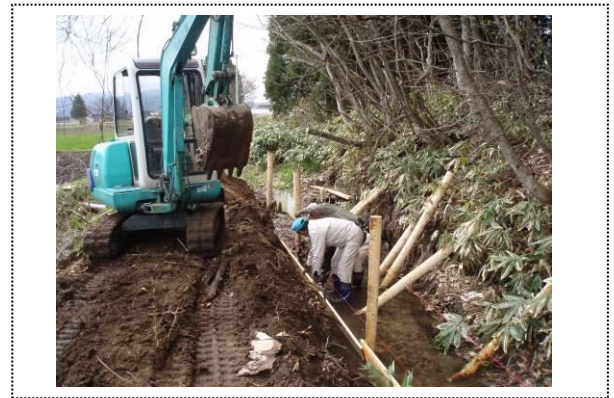
② 農地や水路の管理体制を毎年度見直し、後継者も含め、地域みんなで管理していく体制を継続していきたい。

③ 「横欠のからかさ松」「水芭蕉の群生地」の環境整備や、活動のきっかけとなった「横欠のフラワーロード」を継続実施し、観光客が訪れたいくなる景観づくり、子供たちが将来帰ってきたいくなる環境づくりを実施していきたい。

横欠環境保全の会活動写真



(フラワーロード)



(農道維持活動)



(水様生物の調査)



(散策道の整備)